

# 一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第27号

2022年7月30日発行

編集・発行 総務委員会

## 4期目の会長就任にあたって

### 冲永 佳史

全日本学生柔道連盟は、昨年創立70周年を迎えることができました。本来であれば、記念試合や式典、記念誌発行など、各行事を執り行うはずでしたが、新型コロナウイルス蔓延により、本連盟が例年行っている国際交流などの重要な事業を遂行することが極めて困難であり、研修会もリモート開催を中心に行わざるを得ず、全国大会に至っては昨年の11月から12月にかけての1ヶ月間に、コロナウイルスの新規感染者数の減少の間に縫って、なんとか開催に漕ぎ着けたような状況では、それは叶わぬものでありました。

しかしながら、今年度に入って、新型コロナウイルスの亜種の発生に伴い、新規感染者数はそれなりの数値を示しているものの、ワクチン接種の浸透や治療薬の出現、集団免疫の獲得により、重症者や死亡者の数は抑えられる状況となり、人が集まるイベントも徐々に解禁されつつある中で、本連盟の事業も例年に近い形で行うことができる環境になりました。

このような中、学生柔道優勝大会は3年ぶりに日本武道館で挙行され、無事に大会を終えることができました。今大会の実現は、本連盟に関わる方々の真摯なるご協力によるものでありますが、武道館における久々の全国大会は、学生諸君や参加校関係者の皆様にとって、待ちに待った機会であったのではないのでしょうか。本年度は、残る体重別選手権、体重別団体優勝大会を、事業計画でお示しした通りに行う予定であり、学生諸君にはそれらに向けて大いに鍛錬を積まれることを期待しております。

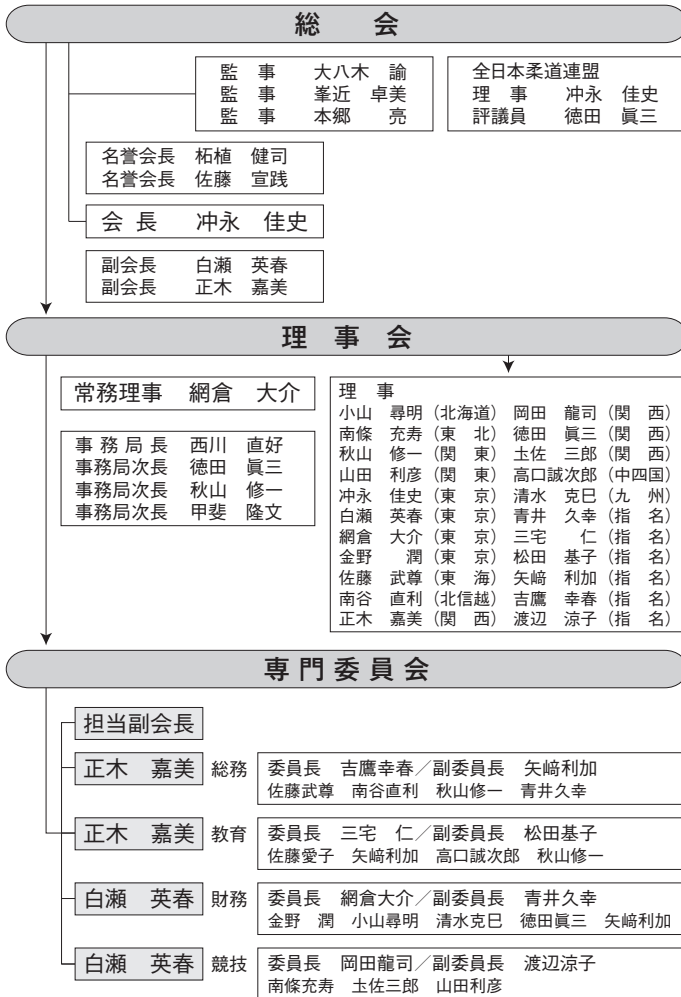
一方、指導者研修や教養講座、国際交流事業、キャリア支援、ダイバーシティ社会への対応など、全日本学生柔道連盟がガバナンスコードで明示している方針に沿って、学生柔道家の育成、ひいては将来の日本柔道を支える人材育成に必要な事業を着実にこなして参りますので、これらの事業にも引き続き関心を寄せて頂きたいと思っております。

そして、1年遅れとなりましたが、70周年記念事業の遂行を予定しており、その中には新しい試みが盛り込まれております。過去の周年事業においては、記念大会が付随してお行われておりましたが、70周年事業においては、コロナ禍で浸透したオンラインの仕組みを活用し、柔道「形」の試合を行うことを予定しております。「形」は柔道における段位取得や昇段する際に必ず行わなければならないものですが、相手の柔道とは違った趣を以って柔道の基本動作を端的に示すものであり、激しいコンタクトがなくても柔道の美しさで競い合える、いわばダイバーシティ社会に合致した柔道のあり方もいえます。

「形」の試合は世界選手権も行われる時代になり、全日本柔道連盟も「形」の試合をより浸透させる努力を払っております。本連盟においても、70周年記念大会として「形」の試合を試験的に取り入れ、将来への可能性を探って参りたいと考えております。

また、ダイバーシティへの対応は、男子柔道・女子柔道双方の今後の発展、教育としての柔道、競技としての柔道の発展、そして日本柔道の発展に欠かさない要素と考えております。今回の役員改選においては、将来の柔道家の育成環境をより良いものにするために、本連盟の事業に積極的に関わる力をお持ちの女性指導者を登用しております。新たなフォーメーションで、全日本学生柔道連盟は活動を展開して参りますので、関係の皆様方におかれましては、引き続き本連盟に対するご厚情とともに、前向きなご意見とご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。会長就任のご挨拶に代えさせていただきます。

## 一般社団法人 全日本学生柔道連盟組織図(2022)



### 理事の職務分担

総務委員会	(1) 定款及び細則ならびに各種規定に関する事 (2) 年間計画の策定に関する事 (3) 日程の調整に関する事 (4) 会報及び出版物の刊行に関する事 (5) 助成及び顕彰に関する事 (6) 正会員に関する事 (7) 他団体との折衝に関する事 (8) その他、各委員会の所管に属さないこと等
教育委員会	(1) 研修会、講習会、教養講座など教育事業に関する事 (2) 国際交流に関する事 (3) 医学に関する事等
財務委員会	(1) 資産及び会計に関する事 (2) 会費の徴収、財源の確保に関する事 (3) 賛助会員の拡大に関する事 (4) 競技会の協賛に関する事等
競技委員会	(1) 競技に関する事 (2) 審判員に関する事 (3) 競技力向上に関する事 (4) 国際競技会等への代表選手選考に関する事等

### 正会員数(地区学生柔道連盟別・2022年6月30日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海	北信越	関西	中国四国	九州	合計
16	17	36	47	24	14	48	33	25	260

## 【北海道】

2021年度、当連盟の加盟状況は加盟17校、部員数245名で、2020年度より11名の減少、300名を切る状況でした。本年度、2022年は藤女子大学柔道部から新規入会の打診があり、加盟校は18校となりますが、依然として部員数が300名には及ばない見通しです。

さて、2021年度の話も何と言っても全世界にまたがって蔓延した、コロナウイルスによる感染症ではないでしょうか？終焉がそろそろ近づいたかと思うと、変異種、オミクロン株の出現でさらに逼迫した状況に追い込まれました。当連盟では、2021年度に学生柔道優勝大会、体重別選手権、体重別団体戦、新人戦、および女子柔道階級別選手権大会を予定しておりましたが、すべての試合がキャンセルとなりました。このような状況の中でも、関係皆様の御尽力で全日本学生柔道優勝大会、体重別選手権、体重別団体戦が開催されました。関係者の皆様に御礼申し上げます。上記の大会に関しては、北海道地区予選が行えない状況でしたので、過去の実績を踏まえ、かつ本件に関して総計9回の臨時役員会で合議のもと、当連盟推薦の代表校、代表選手を選出し、全国大会に臨みました。このような状況ではあったものの出口が見えてきたのではと期待できました。これを励みに当連盟では、コロナウイルス感染症が少しでも改善されることを見込んで2022年度、下記の5つの大会を予定しています。5月22日に全国大会の予選を兼ねて北海道学生柔道優勝大会、同じく全国大会の予選を兼ねて8月27日に北海道学生柔道体重別選手権大会、翌28日に北海道学生柔道体重別団体優勝大会、そして11月20日に北海道学生柔道新人大会と北海道学生女子柔道階級別選手権大会です。

なお、2022年度の役員（敬称略）は以下の通りです。

会 長	岩崎 満
副 会 長	工藤 正義 安宅 一夫
理 事 長	小山 尋明
副理事長	岩井 眞 安達 昭弘 十倉 宏 松浦 英幸（事務局長）
常任理事	河合 一丸 中川 純二 阿部 眞久 森 洋一 今井 克俊 大内 基樹
監 事	坂井 俊文
事務局長	松浦 英幸

残念ではありますが、長らく当連盟の副会長を務められていた丸山淳士先生が去る2022年4月にご逝去されました。ご報告しますと共に先生のご冥福をお祈りする次第です。

北海道学生柔道連盟 事務局長 松浦 英幸

## 【東北】

### 1. 役員の改選

2022年度は、事務局長、副会長、会長など、長年本連盟にご尽力された高橋富士男会長のご勇退に伴い、新会長に豊嶋良一氏が就任した。

近年の本連盟は、新型コロナウイルス感染症の対策に追われてはいるものの、大会のlive配信や、試合進行状況をタイムリーで公開する工夫など、運営上は大きく進歩していると実感している。引き続き、役員、学生が一丸となって、取り組んでいきたい。

#### 2022年度役員

名誉会長	遠藤 純男・元会長
顧 問	佐々木武人・元会長
顧 問	高橋富士男・前会長
*会 長	豊嶋 良一・東北学院大学
副 会 長	佐々木安廣・富士大学
副 会 長	三戸 範之・秋田大学
副 会 長	高橋 俊哉・弘前大学
理 事 長	南條 充寿・仙台大学
副理事長	大関 貴久・東日本国際大学
副理事長	阿部 文智・東北学院大学（事務局兼務）
監 事	伊藤 周・東北大学
監 事	三浦 友和・東北福祉大学
事務局長	阿部 文智・東北学院大学（副理事長兼務）
々 次長	佐藤 佳祐・東日本国際大学
*学生委員長	石嶋 青空・仙台大学

（\*～新）

### 2. 東北学生大会の開催とコロナ対策

2021年度は、2021年度は、なんととしても大会の開催をという思いから加盟大学が一丸となって、開催することができた。特にコロナ対策については、全柔連の指針及び日学連のガイドラインに則り、参加選手にはPCR検査を義務付けるなど、対策を万全にして開催することができ、全日本学生に代表チームを送り出すことができた。

2022年度も、例年通りの事業計画を立て、withコロナのもと、万全な対策をし、事業を運営していきたいと考えている。

幸いにして、各県の柔道連盟様には審判員派遣等多大なご協力をいただき、共催の河北新報社様からも多大なご支援をいただいた。この場を借りて感謝申し上げたい。

### 3. 今後について

学連内の情報共有ツールとしてメールを多用しているが、今後、他学連で立ち上げているような、ホームページを立ち上げ情報共有とともに、情報公開も行っていくことを検討している。

東北学生柔道連盟 副理事長兼事務局長 阿部 文智

## 【関東】

### ○2022年度に向けて

本年2月に行われた2021年度関東学生柔道連盟総会において、役員改選が行われ、吉鷹幸春先生を会長とした1期目の体制が整えられた。

会長：吉鷹幸春（新：桐蔭横浜大学）、副会長：中村一成（防衛大学校）、高橋進（新：関東学園大学）、越野忠則（新：国際武道大学）、理事長：山田利彦（新：了徳寺大学）、副理事長：三宅仁（平成国際大学）、秋山修一（新：城西国際大学）、理事：木村昌彦（横浜国立大学）、岩崎卓（流通経済大学）、岡田弘隆（筑波大学）、矢崎利加（国際武道大学）、廣川充志（桐蔭横浜大学）、市川邦臣（城西大学）、野瀬英豪（淑徳大学）、増地克之（筑波大学）、清水明日香（桐蔭横浜大学）、小野卓志（新：帝京平成大学）、西田泰悟（新：山梨学院大学） 監事：石井兼輔（国際武道大学）、小山勝弘（新：山梨学院大学） 事務局長：奥田修平（新：清和大学）、事務局次長：今井学（千葉工業大学）。本連盟の更なる発展のためにご尽力いただきたい。

そして、長きにわたり、当連盟にて大変ご活躍された、小俣幸嗣先生、柏崎克彦先生、木村仁先生、野瀬清喜先生の4名には顧問として、当連盟のさらなる発展に今後もご尽力いただきたい。

さて2022年度の事業計画は、新型コロナウイルスの感染が著しく減少したとはいええないものの、「Withコロナ」として感染対策を徹底しながら、従来どおり大会を実施する方向である。加盟大学においても大会に向けて、感染対策を徹底しながら精一杯準備をしているところである。しかし、一部の大学では、新型コロナウイルスの影響などもあり、まだ十分に活動ができていない大学や、部員数の減少により、部としての活動が難しくなりつつある大学もある。当連盟の学生登録者数は横ばいではあるが、今後、連盟として、大会や様々な事への対応策も検討していく必要があると考えている。

学生大会のみならず、全国的に大会が開催されている。大きな前進ではあるが、まだまだ制限があるのが現実である。1日も早く普段の日常を取り戻し、学生達が豊かで有意義な学生生活を送れるよう願っている。

関東学生柔道連盟 事務局長 奥田 修平

## 【東京】

### 2022年度は役員改選が行われ新体制スタート、コロナ禍での事業展開

昨年度は、コロナ禍にあっても多くの関係者の皆様の協力により、2全国大会の主管、東京優勝大会（団体）、選手権大会（個人）等、大会事業を実施することができました。あらためて感謝申し上げます。

また、先に開催されました定時評議員会におきまして、役員改選が行われ下記の通り白瀬会長（4期目）以下新役員が選任されました。改選はコロナ禍の非常時でもあり概ね留任となっております。

本年度におきましては、状況を踏まえ、2部大会やオープン大会、海外研修事業等、延期・中止された事業の復活と、昨年と同様に確かな感染対策を実施し、新役員一丸となり可能な限り諸事業を展開してまいります。

同時に、本連盟加盟校との連携をより深め、厳しい環境を乗り越える逆境力を発揮し、充実した2022年度を迎えるべく、取り組んでまいります。

（組織運営）

連盟運営の方向性を示す「運営ガイドライン」を従来通り策定し、自主財源ベースの運営を目標におきます。また、昨年度からの「コロナウイルス感染防止対策」も適宜協議更新し、より安全な諸事業の実施を目指してまいります。

（財務状況）

現在、安定財源確保のために、歴代の佐藤・高木会長から白瀬会長に引き継がれた「Come Back 柔道連盟サポーター（賛助会員）」はコロナ禍にあっても多くのご加入を頂き、その実をあげております。本年度もコロナ対策をはかり、ホスピタリティーの維持をさせていきたいと考えております。

（教育普及）

これまで成果を挙げて参りました海外研修事業に関しては、実施を検討して参ります。しかしながらその実施に当たっては、コロナの感染状況や社会情勢を踏まえた対応が必要と考えております。

また、学生柔道の裾野を広げ、かつ技術的な向上を目的として事業化しております、「柔道出前講座」はウェブ実施も含めて開催予定です。さらに社会貢献・奉仕の心を養うために、要請を踏まえ、可能な範囲で全国視覚障害者柔道大会の運営協力も行う予定です。

このような環境下だからこそ、学生役員を中心にした運営を心がけ、ひるむことなく新事業にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

東京学生柔道連盟 理事長 網倉 大介



## 【東京(続き)】

今年度役員(任期は規約により2年)

会 長	白瀬 英春・東海大学
副 会 長	大八木 諭・中央大学 石原研二郎・東京大学 森脇 保彦・国士舘大学 渡邊 敏之・法政大学 金野 潤・日本大学 網倉 大介・日本大学
名 誉 顧 問	佐藤 宣践・東海大学
理 事 長	網倉 大介・日本大学
副 理 事 長	西川 直好・法政大学 廣瀬 伸良・順天堂大学 青井 久幸・中央大学
監 事	林 信男・東京大学 藤根 崇雄・専修大学 池田 悦雄・法政大学
事 務 局 長	甲斐 隆文・日本大学
事 務 局 次 長	小林祥太郎・日本体育大学
総 務 事 業 委 員 長	瀧本 大成・慶應義塾大学
総 務 事 業 副 委 員 長	穴井さやか・帝京大学 渡辺 崇・日本体育大学
財 務 委 員 長	青井 久幸・中央大学
財 務 副 委 員 長	大原 友里・立教大学
普 及 委 員 長	佐藤伸一郎・拓殖大学
普 及 副 委 員 長	高橋 歩・専修大学 佐藤 愛子・東京女子体育大学
学 生 統 括 委 員 長	細田 明・日本体育大学

## 学生役員より

私たち東京学生柔道連盟は、4年生2名、3年生2名、2年生2名、の計6名の学生が大学の代表であるという自覚を持ち、学業との両立を図りながら、日々活動を行っております。

今年度は2年ぶりに日本武道館での大会開催を予定しており、TOKYO2020オリンピック・パラリンピックと同じ会場で学生大会を開催できることに喜びを感じております。学生委員長としては、慣れない会場での大会運営ということもあり不安も少なくありませんが、選手の技や作法が輝きを放つ、素晴らしい学生大会を作り上げられるよう尽力してまいります。

数年前から日本のみならず世界を震撼させている新型コロナウイルスですが、多少の落ち着きを帯びてきた昨今でも、コンタクトスポーツである柔道の大会運営を行う上で十分な感染防止対策に取り組み、選手、役員、観客、全員が安心して参加のできる大会を作り上げるよう心掛けております。昨年度のようなイレギュラーな大会の運営経験を十分に活用し、学生柔道から柔道界、スポーツ界を盛り上げていけるよう、学生委員一丸となって精一杯準備を進めてまいります。

各地区学生柔道連盟並びに関係者の皆様には今後一層のご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟 学生委員長 城地 直輝

## 【東海】

東海学生柔道連盟は竹内外夫会長を中心とし、理事長の佐藤武尊と副理事長の久野高裕および三宅恵介の役員を含む体制により、組織体制の改革や大会運営方法の見直し、新たな事業展開などを見据えて、東海学生柔道の活性化を目指して改善を進めています。若手役員を中心とし、東海地区学生柔道の更なる発展と活発な組織の永続性を意識して、引き続き尽力していきたいと思えます。

昨年度は、全日本学生女子柔道優勝大会3人制において、皇學館大学が初の全国優勝を果たしました。また、全日本学生柔道体重別選手権大会では、66kg以下級で準優勝、100kg以下級でベスト8に進出を含む、多くの東海地区代表の選手が、他地区代表の選手と善戦しました。今年度は、これに甘んじることなく、更なる成果を期待したいと思います。

東海学生柔道連盟では、コロナ禍を乗り越えて、東海学生柔道連盟主催の合同練習会や講習会、海外遠征などを積極的に開催し、東海学生柔道が一枚岩となって力を付けていけるようにと思案しています。引き続き、東海学生柔道連盟に対するご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

### 1. 役員

会 長	竹内 外夫 (中京大学・名誉教授)
副 会 長	松本 秀彦 (至学館大学・准教授)
理 事 長	佐藤 武尊 (皇學館大学・准教授)
副 理 事 長	久野 高裕 (愛知大学・職員)
副 理 事 長	三宅 恵介 (中京大学・准教授)
事 務 局 長	福井 博泰 (名城大学・職員)
事務局次長	大木 雅人 (皇學館大学・職員)
事務局次長	早川 太啓 (中京大学・実技嘱託講師)
監 事	柴田 光徳 (愛知学院大学・元職員)
監 事	小林 秀明 (名古屋商科大学・OB)
学生委員長	二宮 龍凱 (中京大学)
学生副委員長	大藪 太郎 (愛知大学)
学生副委員長	水野 有菜 (中京大学)

### 2. 開催行事

5月21日(土) 於：愛知県武道館

第68回 東海学生柔道夏季優勝大会

第28回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

8月28日(日) 於：愛知県武道館

第40回 東海学生柔道体重別選手権大会

第38回 東海学生女子柔道体重別選手権大会

### 3. 本年度大会結果(団体優勝校)

第68回 東海学生柔道夏季優勝大会

7人制：愛知大学 5人制：米田柔整専門学校

第28回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

5人制：中京大学 3人制：至学館大学

東海学生柔道連盟 副理事長 三宅 恵介

## 【北信越】

### <北信越学生柔道連盟役員>

会 長 牧 泰二  
 副 会 長 阿部高弘・上田重隆・大柿 実・松永大吾・  
 藤田真郎・玉田善明・紐野義昭・野本正人・  
 砂塚貴広・武田秀則・諏訪部仁  
 理 事 長 南谷直利  
 副理事長 渡辺直勇 (兼事務局長)  
 常任理事 渡辺涼子・鈴木貴士 (会計)・川端健司・  
 桐生 拓・宮本 晃・横谷智久・林 俊伍・  
 宇城裕二

### <2022年度大会予定>

5月15日  
 令和4年度北信越学生柔道優勝大会  
 (男子71回・女子31回) (石川県立武道館)

8月27日  
 令和4年度北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会  
 (男子41回・女子34回) (石川県立武道館)

8月28日  
 第24回北信越学生柔道体重別団体優勝大会  
 (石川県立武道館)

期日未定  
 第1回全日本学生柔道オンライン形競技大会 (仮称)  
 (オンライン開催)

11月19日~20日  
 第19回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会  
 (白山市松任総合運動公園啓武館)

### <その他行事予定>

5月14日  
 北信越学生柔道連盟第1回常任理事会・理事会・役員総会  
 (石川県立武道館会議室)

8~9月 (未定)  
 北信越女子学生柔道夏期強化練習会 (場所未定)

2023年  
 3月 (未定)  
 北信越学生女子柔道春期強化練習会 (場所未定)

3月 (未定)  
 北信越学生柔道連盟常任理事会 (場所未定)

※常任理事会はその他1~2回程度、適切に開催予定。  
 年2回程度の女子強化練習会を実施する予定である。大学間の交流を深め、競技レベル相互協力を高める為の一助としたい。また、第1回全日本学生柔道オンライン形競技大会 (仮称) 開催のサポートを務めたい。

北信越学生柔道連盟事務局

## 【関西】

今年度は講道館創立140周年の記念の年にあたり、改めて柔道創始者である嘉納師範の教えをかみしめる機会となりました。凄まじいはやさで目まぐるしく変化する社会情勢の中で、一人ひとりの個性を尊重し、多様性を認め合い、持続可能な世界の実現を目指すには、まさに「精力善用」、「自他共栄」の精神を正しく理解した人材育成が急務であると言えるでしょう。そうした状況下にあつて、我々は学生柔道に携わる者として、個々の学生が日々の柔道修行を通じてこころとからだを磨き、「世を補益する」有為な人となるよう育成する使命を帯びていることを今一度こころに刻むことの重要性を実感しています。本連盟はこうした理念のもと、今後も本連盟加盟大学の学生にとって有意義な取り組みとなるよう本連盟主催大会の運営をはじめ、各事業の推進に努めてまいり所存であります。

現在もコロナ禍にあることには変わらないものの、少しずつ日常を取り戻そうと工夫を凝らし努力している昨今の社会状況のなか、本連盟としましても感染対策を十分考慮しながら関西学生柔道連盟の主催大会 (「優勝大会」、「体重別選手権大会」) 等の開催を進めてまいりました。本連盟としましてはこうした各事業の取り組みが、個々の学生の幸せな人生の糧となる機会になればと願って止みません。そして、学生柔道の出身者が「平和な世界を築く担い手」となることをこころより期待しています。

### 【2022年度本連盟主催大会】

- ・2022年度 (男子72回 女子30回)  
 関西学生柔道優勝大会 (5月29日、ベイコム総合体育館)
- ・2022年度 (男子41回 女子34回)  
 関西学生柔道体重別選手権大会 (8月20日~21日、大浜体育館)

### 【本連盟役員】

会 長 近藤 徹  
 副 会 長 佐々木裕二 正木 嘉美 峯近 卓美  
 理 事 長 岡田 龍司  
 副理事長 徳田 眞三 土佐 三郎

### 【本連盟学生幹事】

幹 事 長 藤本 康太  
 副幹事長 三浦蓮一郎  
 幹 事 海崎 真代 小嶋 弥愛 山川 佐助  
 藤木 彩

### 【本連盟加盟大学】

芦屋大学他、48大学

以上

## 【中国四国】

中国四国学生柔道連盟は、5月17日に理事会、5月19日に総会をオンラインで開催し、役員改選と令和4年度の事業計画等を承認しました。役員改選では、新会長に大谷崇正氏、新副会長に出口達也氏、栗原昭広氏の2名、新理事長に高口誠次郎氏が選任され、新体制となり、更なる飛躍的な1年になることと思います。

また、今年度、山口県の至誠館大学、香川県の四国学院大学が新たに加盟し、加盟数34大学となりました。

今後も様々な取り組みを実施しながら、魅力ある連盟と発展していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(令和4年度 中国四国学生柔道連盟 行事予定)

4月9日(土)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会(ZOOM)

5月21日(土)~22日(日)

中国四国学生柔道優勝大会

(キリンビバレッジ 周南総合スポーツセンター)

中国四国学生女子柔道優勝大会

(キリンビバレッジ 周南総合スポーツセンター)

7月9日(土)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会(ZOOM)

8月27日(土)

中国四国学生柔道体重別選手権大会[第41回]

(愛媛県武道館)

中国四国学生女子柔道体重別選手権大会[第38回]

(愛媛県武道館)

8月28日(日)

中国四国学生柔道体重別団体優勝大会

[男子第24回、女子1回](愛媛県武道館)

中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津 良仁

## 【九州】

九州学生柔道連盟では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、九州学生柔道優勝大会が2年間開催できませんでした。昨年度の全国大会へは、2019年度の実績を基に男子4大学、女子5人制2大学、3人制3大学を推薦いたしました。男子は鹿屋体育大学がベスト16、女子5人制では福岡大学が準優勝、3人制では別府大学が準優勝、九州共立大学が3位の成績を収めました。また、全日本学生柔道体重別選手権大会では、男子60kg級で福田大吾選手(鹿屋体育大学)が優勝、男子90kg級で吉野弘人選手(鹿屋体育大学)が3位、女子78kg超級で中原爽選手(福岡大学)が準優勝の成績を収めました。

2022年度の行事予定を次のとおり予定しており、九州学生柔道優勝大会は3年振りに開催することができました。また、総会も対面で開催することができました。

福岡県の新型コロナウイルス感染症新規感染者数は減少傾向にはあったものの、5月は毎日700人前後で推移しており、今年度におきましても大会中止も危惧されましたが何とか開催することができました。厳しい条件・制約の下での開催となりましたが、学生・選手は柔道・試合ができる喜びを感じ大会関係者のご協力に感謝いたしております。

当連盟も、加盟大学が一丸となって魅力ある連盟と発展していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

5月21日 定例総会

5月21日・22日 2022年度九州学生柔道優勝大会  
(男子70回、女子30回)

8月27日・28日 2022年度九州学生柔道体重別選手権大会  
(男子65回、女子35回)

### 【役員紹介】

名誉会長 藤田 弘 明

会 長 中 原 一

副 会 長 羽田野 節 夫

安河内 春 彦

理 事 長 清 水 克 巳

副理事長 小 澤 雄 二

房 前 善 行

坂 本 道 人

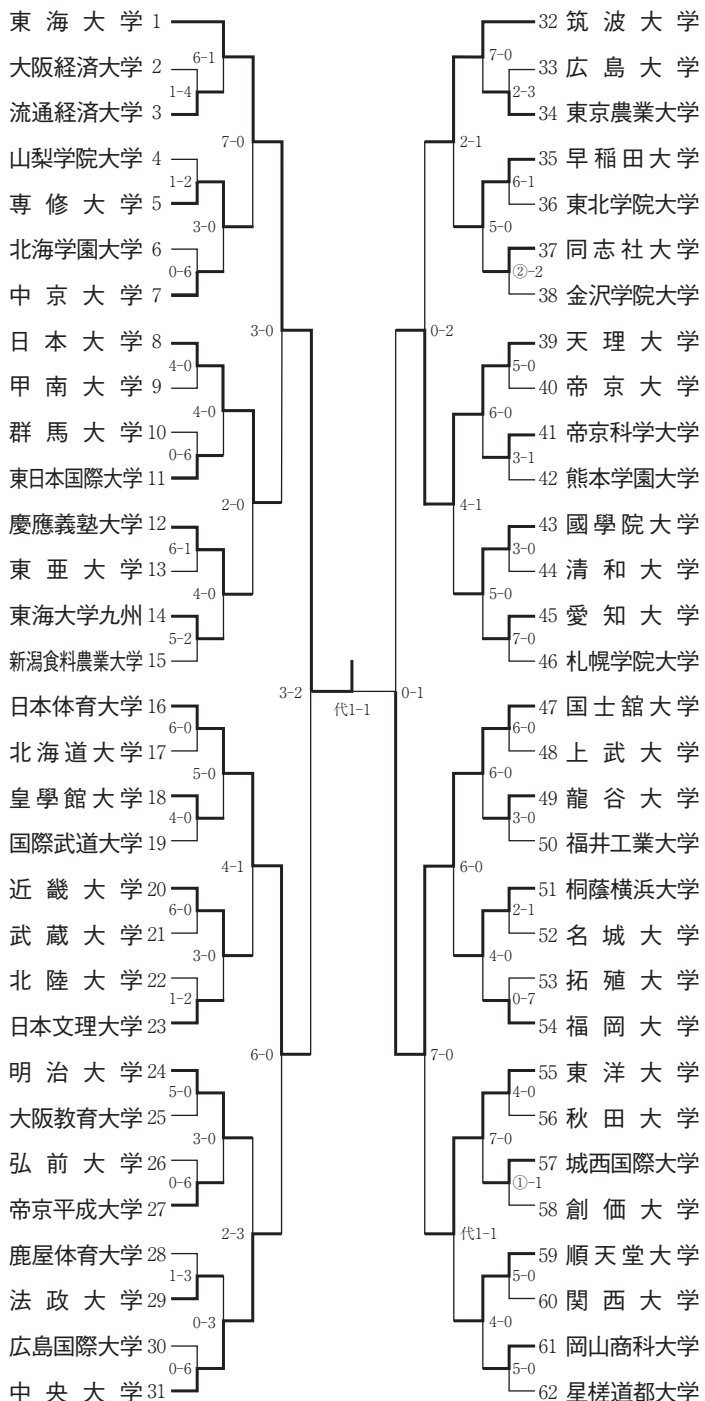
事務局長 飯 田 勝 弘



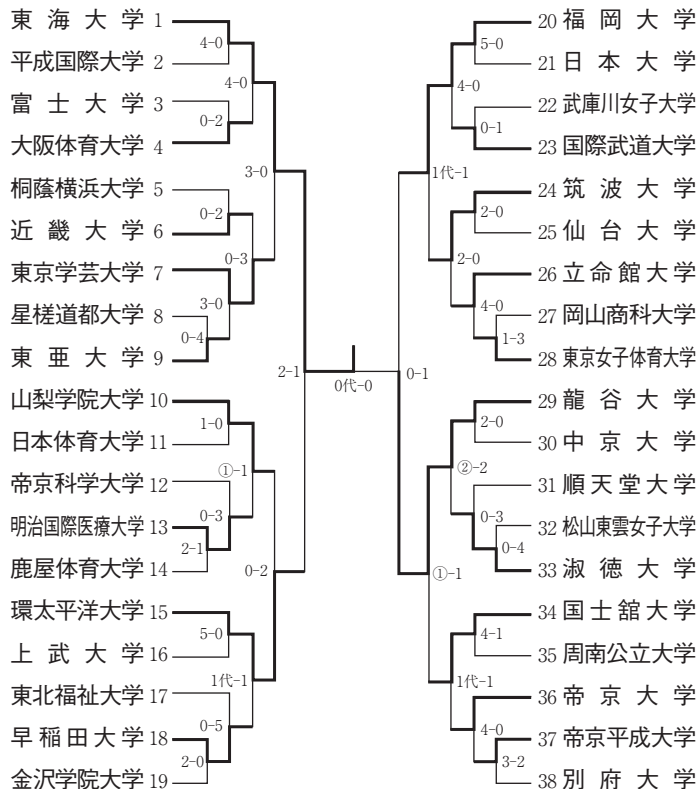
# 2022年度全日本学生柔道優勝大会(男子71回 女子31回)

— 6月25・26日 開催 於:日本武道館 —

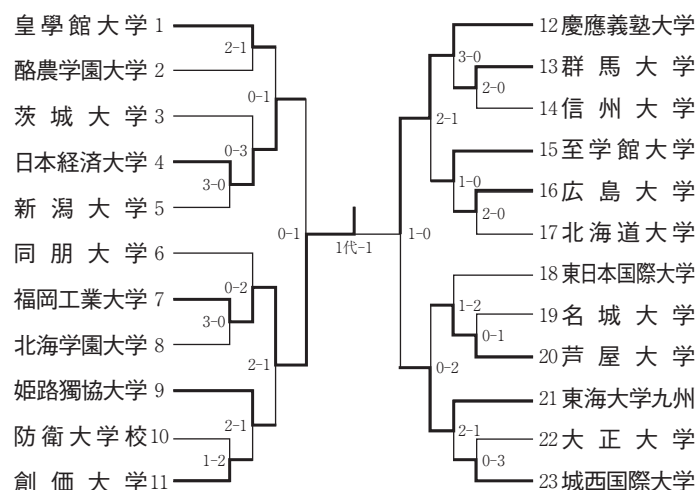
## 男子団体対戦表



## 女子団体5人制対戦表



## 女子団体3人制対戦表



内…内容勝 代…代表戦

一般社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:http://www.gakujuren.or.jp